

【ぐんま医工連携活性化ファンド】 株式会社 BMZ に対する出資について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）のファンド運営子会社である REVICキャピタル株式会社（以下「REVICキャピタル」という。）が、ぐんぎんリース株式会社と共同で運営する「ぐんま医工連携活性化ファンド（以下「本ファンド」という。）」は、株式会社 BMZ（以下「BMZ」という。）の第三者割当増資を引き受けるとともに、REVICキャピタルから同社に対して取締役及び監査役を派遣しましたので、お知らせいたします。

BMZは、2004年にスキーブーツやスノーボードブーツの調整・加工等、スキーヤーのサポートを行う有限会社BMZとして設立され、その後、『インソールで世界を変える』をコンセプトに、安定性のみを重視した従来のインソールとは一線を画した「機能性インソール」の研究開発・販売を行っております。同社のインソールは、オリンピックメダリストやメジャーリーガー、Jリーガー、プロゴルファー等の多くのトップアスリートに使用されており、高い評価を得ており、また、「群馬イノベーションアワード」や「グッドデザイン賞」を受賞する等、ビジネス界からも高く評価されています。また、群馬県みなかみ町に事業拠点を据え、地域の雇用創出と地域企業との連携による地域経済の振興にも大きな役割を果たしています。

創業者である高橋毅取締役は、長年に渡りインソールの研究開発を進め、足の安定性を高めると運動性能が落ち、運動性能を極めると安定性が失われることに気づき、以来、従来の技術の延長線上には解決策はないとの理念の下、新たな機能を持つインソールの研究を重ねてまいりました。その過程で、足全体の骨格が立方骨（足の中心部外側寄りの骨）に乗っていること、そして、立方骨を支えれば足全体がサポートされる構造となっていることを突き止め、従来のインソールとはまったく異なる、BMZ骨格アプローチを確立し、特許を取得、製品化を実現しました。その後、汎用品の製品開発に成功し、足底筋膜炎や外反母趾等の歩行に問題を抱える人、成長期の子供等、老若男女を問わず、全ての人の健康寿命を足元から支えることを目指しています。

今般、BMZは、大学・研究機関との医工連携に基づき、同社のインソールの身体バランスや身体機能等に及ぼす作用についての医学的エビデンスを取得し、更なる機能強化を推進することを企図しています。また、異業種企業との連携を推進し、ヘルスケアデバイスとしてのインソールが持つ可能性を引き出していく計画です。

機構は、本ファンドからの出資及びREVICキャピタルからの役員派遣を通じて、同社の事業の展開を支援し、加速させてまいります。

本ファンドは今後も、医療産業の振興に資する事業者に対し、事業の成長に必要なリスクマネーの提供と人的支援を行うことで、新たな「産・学・官・金」(※)連携の構築による、地域経済の活性化ならびに地方創生に資する産業のモデルケースを構築したいと考えております。

※「産・学・官・金」とは、産業界、大学等学術機関、国・自治体、金融機関の略称。

【製品写真】



投融资先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社 BMZ
設立	2004(平成 16)年 12 月 *2015 年(平成 27 年)12 月に株式会社化
本社所在地	群馬県利根郡みなかみ町
代表取締役	高橋 のり子
事業内容	「疲労軽減」「障害予防」「運動能力向上」を目的とした機能性インソールの研究・開発・販売 等
ホームページ	http://bmz.jp/

以上

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 9 階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部：TEL 03-6266-0294 担当：蔭山